

特定秘密保護法案を廃案にしよう!!

STOP! 「秘密保護法」 11. 21大集会を開催!!

安倍内閣は、10月25日に閣議決定された「特別秘密保護法案」は、「維新」「みんなの党」を巻き込んで11月26日に衆議院を通過せようとしています。

この「特別秘密保護法案」は、「知る権利」を国民から奪うだけではなく、政府に都合の悪い動きをする個人・団体を弾圧するための法案と言えます。



11月21日には新聞労連などが呼びかけて反対のための集会が開催され、新幹線地本からも組合員・OBが参加しました。

集会に参加したOBから報告が寄せられましたので全文を紹介します。

ごまかしの密室「修正」協議で秘密保護法案の衆院通過が狙われる中、全国各地で11月21日、デモや集会など多彩な取り組みが行われました。東京では、標記の大集会が、18時30分より、日比谷野外音楽堂で開催されました。JR総連からは、JR東海労をはじめ、JR東労組、JR貨物労組が参加しました。

集会には、約1万人が結集し、3千人定員の会場に入りきれず、7千人の参加者は、場外での参加となりました。民主・共産・社民・新党大地各党衆参議員・山本太郎参議員らと日弁連代表、落合恵子さんほか6名の発言者が参加し、『10月25日、安倍自公政権が国会に提出した、「特定機密保護法案」は、国家安全保障会議設置法と一体のものとして提出されており米日の軍事情報の共有とその「秘密」化、内閣の「大本営」化、安倍政権の集団的自衛権の追求という流れを見れば、同法が戦争準備法であることは疑いない。私たちは、憲法の国民主権、平和主義、基本的人権の保障という三大原理を否定し、知る権利、取材・報道の自由を侵害し市民の生命と安全を脅かし、戦争を準備する秘密保護法案の制定に反対する。同法案の廃案のために全力を尽くすことを宣言する。』との集会宣言を満場一致で採択し、成功裡に閉会しました。

引き続き、国会請願・街頭行進の2コースに分かれてデモ行進に出発しました。わたしたちJR総連部隊は、沿道の市民に「戦争を準備する秘密保護法案の制定反対を」力強いシュプレヒコールで訴えながら銀座通りを行進し、21時、東京駅八重洲口付近で流れ解散し、デモを終了しました。